

KSKP BUG^{バグ} No.78

発行人／関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F
編集人／〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
http://kyoto-j-works.com/
Eメール saba@mediawars.ne.jp
編集責任者 大崎雅彦



書／小松満雄

夏の夢を送る。

目次

特集

2016年度アートフェスタ開催のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

連載

NAKAJIMA'S EYES 「人が、立ち止まり、考えるとき」・・・・・・・・・・ 3

イベント報告 合同交流会 / みみづく地蔵尊献灯会 / ふくしまつり / 私たちの災害救援募金 / 第41回キャンプご案内・・・・・・・・ 4

あしあと・・ 6

2016年度 障害者及び関係者の芸術文化工芸作品展

JCIL&WORKS アートフェスタ Art Festa 2016

障がい者及び関係者の芸術文化工芸

作品展

今年のテーマ

愛

あい

2016年
8月20日(土)~22日(月)
午前10時~午後4時まで(最終日は午後3時)

会場/京都市地域・多文化交流ネットワークセンター

アートフェスタ2016とは

障害のある人、又その周りにいる人たちが、地域や施設で生活している自分達と表現する手段としての芸術、工芸の作品を展示しています。新しい技術、手法、発想、考え方で作られた作品です。

今年のテーマは「愛」。一口に「愛」といっても様々な形や表現が人によって存在します。

「恋愛」「兄弟愛」「親子愛」「世界愛」「人類愛」「愛燦々」「相合傘」等々、出店者の「愛」の形やあり方を作品を通して感じてください。お待ちしております。

会場
京都市地域・多文化交流
ネットワークセンターさん

〒601-8006 京都市南区東九条東岩本町31
京都市地域・多文化交流ネットワークサロン
JR京都駅・市営地下鉄京都駅八条口より、徒歩15分。
市営地下鉄九条駅より、徒歩15分。



過去の作品



問い合わせ：日本自立生活センターワークス共同作業所 アートフェスタ係（担当/大崎）
TEL:075-682-3201 FAX:075-682-3330 E-mail:info@kyoto-j-works.com

NAKAJIMA'S EYES

人が、立ち止まり、考えるとき

学校を卒業して、進路を選択するとき。

人生を修正したいとき。

それは自分の生き方を、省み、進むべき道を決めるとき。

進むべき道を、自分の思い描いた「理想や夢」に向かって、「全身、全霊」で躊躇なくぶつかっていける人もいるが、「ふ」と立ち止り、自分の生き方はこれで良かったのかと思ひ起こす人もいる。

国や大企業や企業が、大きな施設を作るとき。本当に、人の役に立つものなのか？原子力発電はどうしても必要なのかと、他の方法は無いのだろうか？と、立ち止り、考える。

風力発電、火力発電、水力発電、太陽光発電、地熱発電などや波力発電、海流発電、潮力発電、冷熱発電、海洋温度差発電（液化天然ガスを利用）、廃棄物発電（家庭ゴミを利用、廃棄プラスチックを利用）する等もある。研究中のものもあるが、なるべくなら、人に優しく、自然にも優しい方法が良いだろうと思う。原子力発電なんて何が起こるか解らない。特に地震国の日本では……………。

どうして、立ち止まり、よく考えなかったのか？

2020年の東京オリンピックにかかる莫大な費用、エンブレムのデザインのやり直しに国立競技場のデザインのやり直し等、どれだけの費用を使うのであろう。決める前に、立ち止まり、慎重に考えて欲しかった（二回もやり直し、莫大な費用をかけてはいけないだろう）。日本の首都だからといって、東京だけが多額のお金を使える、と云うのは不公平だと思う。地方の都市では、使えるお金が使えない地方が多いというのに、地方都市にもお金を出して貰いたいと思う。

自衛隊と安保法案成立のために、自衛隊員は本当に他国の戦争に巻き込まれることはないのだろうか？隊員の家族は心配するだろう。立ち止まり、もっと良く考えて欲しかった。

類安保法案も、60年代や70年代に大臣がこんな法律を作ると云いだしていたら、学生や労働者、学者達が黙っていなかったらなあ、と思う。

何かをやろうとした時、まず国民への思いやりや低所得者の生活のことを考え、自然を考え、利益は後で考える。それが良い政治だと思う。

今の日本には、65歳以上の人は多数いる。良い会社を出て、厚生保険でお金を沢山貰っている人もいるが、簡単には本雇いして貰えず。厚生年金もなく。ずっと安い賃金で働いて来た人間もいる。

私達の様な貧困層は、身内が働いていると云うだけで、生活保護が受けられない。身内なんて経済的援助なんてしてくれない。障害年金の中から介護保険を払い、ヘルパー代も払い、健康保険代も払わなくては行けない。食事代にも使わなければならない。65歳以上の人間には貧困層も居れば中間層も居る高所得層も居るのだ。この格差社会を政府や行政は、どう思っているのだろうか。

貧困層や弱者のことをもっとよく慎重にして、緻密に考えて欲しいと思う。「人が、立ち止まり、考えるとき」とは、「もう1回考え直すということにも通じるような気がします」

このコーナーへの感想やリクエストをお待ちしております



手づくり市であいましょう。 ——— ワークスは、皆さんのまちにいきます。

毎月8日・・・ほていまつり（宇治・黄檗山萬福寺）

毎週火曜日（午後1時～）/8日/24日・・・宇治・黄檗山聖林院

毎月第三日曜・・・京都・藤森神社（※開催日変更有り）

オリジナル商品
占いも人気上昇中!

イベント情報 告知～報告

Work's in summer

合同交流会

7月14日、毎年恒例になっている交流会が、多文化交流センターで行われました。

基調講演では、東日本大震災、熊本大地震をもとに、実際に現地に入ってどのような介助をされた体験をお話を頂き、熊本大震災も凄い事に成っているんだなあと思いました。

震災が京都で起ったら、自分の身は、自分で守ること。ヘルパーも来られない状態で、自分一人で避難所まで行かねばなりません。

僕が思うのに京都市は、ほとんどが家がつぶれて火災に覆われるので津波の心配はないと思います。

NPO法人夢かぜ募金の話も聞き、熊本の方まで全額届けて頂いています。

ゆめかぜ募金は、震災後2日後には大阪を出て熊本の方に向かわれて被災者の方とか社協の方に渡されたと思います。今回も募金が集まったものを香田さんからゆめかぜ募金の理事に渡されました。

第2部の方は、ワークス共同作業所、自立支援事業所、自立生活センター、1年間の振り返りを各部署から各10分づつ仕事の内容とかを話されました。



それぞれの活動報告を受けて、これからの課題も共有。

みみづく地藏尊献灯会

献灯会の事は、約半年前から聖林院の事業計画で決めました。昨年より少し木に飾る献灯を多めに吊下げる為、LEDろうそくを約800個を仕入れ、約600個を木に飾りほかの200個は、他の所に使うということで、いろいろと準備の方を進めてきました。

当日には、手づくりあんどんのワークショップや三陸鉄道復興パネル展(30点)を行いました。

当日は、11時に来て最終の準備をして、本番に備えてました。夕日になってから献灯の中にLEDろうそくを皆で入れて聖林院の庭に飾りつきを開始。

いよいよ夕日が沈み、空が暗くなるとLEDろうそくがいっぱい飾ったので、綺麗な光に見えるようになり和尚様の法要が始まった後から、お客さんもポチポチと献灯を手に持ち献灯台へと列を連ね、山内は賑わいに包まれました。来年はもっとすばらしい献灯会にしたいと思います。

椿森 信幸



インフォメーション

Work's in summer 2

今秋もふくしまつりへ

10月9日(日)に京丹波町下山の京都でてこいランドにて、ふくしまつりが行われます。今年のワークスは、大人気のわた菓子をはじめ、バリアフリーファームで収穫した無農薬野菜の販売、そして恒例ワークスカレンダー2017(今年はワークス所員が書いた昭和をイメージしたイラストが書かれています)を用意しております。

来年カレンダーのテーマは『昭和』です。ふくしまつり当日にどのような昭和が描かれたカレンダーが完成して販売されているかはお楽しみに。

でてこいランドへのアクセスは車でお越しの方は、国道9号線から27号線に入り、JR山陰線の下山駅経由2分程度下山バイパスが開通しました。分かれ道、注意してください。京都市内からおこしの方は京都縦貫自動車道(有料)が便利です。

電車でおこしの方は、JR山陰本線下山駅下車。徒歩15分(1.2km)改札を出て北(ゆるやかな坂を登る)に向かいます。踏切を渡って徒歩10分程度で到着します。



わた菓子は人気で、毎回行列ができません。

私たちの災害救援募金

日本自立生活センター

私たちが救援募金活動をする原動力は、東日本大震災や熊本地震で被災した障害者を救援したい気持ちからです。

沢山の犠牲者が出た中で、九死に一生を得た障害のある人は、幸いにも救われた命にもかかわらず、避難生活の中で、さまざまな危機的状況を強いられています。

不便な避難所での暮らしや、生活上必要な介助者の不足、金銭的・物的な損失による不透明な将来設計、などなど、さまざまです。

こうしたことをすぐに解決することはできませんが、一日でも早く日常を取り戻して欲しい、そう願って募金活動を続けていきます。

東日本大震災救援募金の様子。東日本の地震から1か月たった4月10日に行った募金の様子です。



自立障害者グループ ベンギンの会のみなさん(左)。J C I Lのメンバーです。募金の回数は延べ20回です(右)。

これからもご支援をよろしくお願いいたします。

第41回キャンプご案内 車いすと仲間の会

みなさん、こんにちは。私たちは京都市南区で活動している「車いすと仲間の会」といいます。「車いすと仲間の会」では活動の一環として、毎年キャンプをしています。このキャンプでは、障害のある人もない人も一緒になって楽しみながら交流を深めて「共に生きる社会」のきっかけ作りを目的で行っています。おかげさまで、今年も研修キャンプを開催する運びとなりました。

開催場所は、京丹波の「京都でてこいランド」。参加者全員で手作りの石窯ピザやソーセージを作る「調理企画」これぞキャンプというべき「キャンプファイヤー」や本格的な望遠鏡を使った「天体観測」などの実施を計画しています。ログハウスに泊まりながら、いろんな障害のある人たちがたくさん参加します。障害の有無に関わらず、日常ではなかなか体験できない当会ならではのキャンプをみんなで創り上げましょう!!

ぜひご参加ください♪【日時】9月2日(金)～4日(日)【場所】京都でてこいランド

【参加費】☆ 2泊3日 6000円 ☆ 1泊2日 4000円 ☆ 日帰り 2000円

※学生の方は場合により参加費は応相談です!!

※参加費には、宿泊費・食費が含まれます!

例) 2泊3日の場合、朝食2回、昼食1回、夕食2回(うち1回バーベキュー)がついています。

【問い合わせ・申し込み先】

■〒601-8036

京都市南区東九条松田町28メゾンガラス京都十条101
日本自立生活センター 気付 車いすと仲間の会

■075-671-8484 (電話) ■担当: 宇田隆 下林慶史

あしあと

2016年 6月～7月

6月

6月10日(金)理事会、14:00～相談室、ワークス20周年の会
消火器の体験、緊急連絡、避難誘導

6月22日(水)畑、ジャガイモ堀、黒豆を植える

6月24日(金)ワークス定期総会
(下京いきいき市民センター) (大雨)

7月

7月01日(金)畑、ジャガイモ収穫

7月14日(木)JCIL全体交流会(多文化)

7月17日(日)藤森手作り市

7月30日(土)献灯会(聖林院)

お知らせ

誠に勝手ながらワークスは
8月13日(土)～16日(火)まで
夏季休暇とさせていただきます

編集後記

team BUG

今年は少し梅雨明けが少し遅かったように思いますが、梅雨もようやく開けて暑い夏が到来した。そうこう言っている間に世間では、リオデジャネイロ五輪が開幕した。これからまた暑い夏が始まると思う。日本勢には本当に頑張っ欲しいと思う。ワークスも暑い夏に負けじと、日々全所員が頑張っています。ワークスは暑い夏ですが、各地へ出店に出ていきます。皆様どうぞ足をお運びください。
(文句垂れ像)

日本の気候が欧米化して来たのか、ゲリラ豪雨も夕立という「日本の四季」にまつわる言葉がなくなりつつあるのが残念です。
(mikoto)

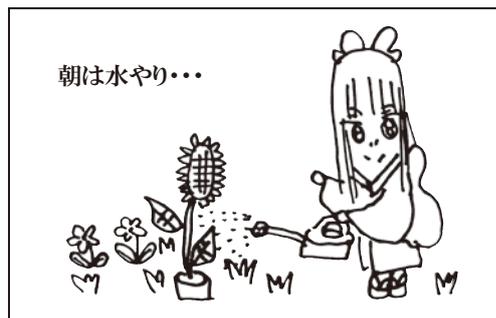
(えき田大輔)

次号もよろしくお願い致します・・・。

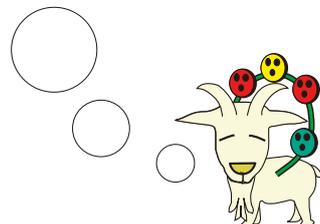
姫のつれづれ日記

夏模様

demi



皆様のご意見ご感想を
編集部までお寄せください。
お待ちしております。



一九八四年八月二十日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

定価1000円